

にちなん議会だより



想い

を込めて

明日へつなぐ若者の声

特集

つなぐ議会 U-50

8名が一般質問 P9

委員会報告
全員協議会

P14

声を聞く

P18

一般質問の→
動画はコチラ



町内から町外への移動手段の確保を

問

答 デマンド交通の広域展開の可能性を検討する



日野町営バスは生山駅に乗り入れている



實延 美彩 議員

問 デマンドバスのような仕組みで、町内から町外への移動手段を確保できないか。

町長 制度的に可能であるが、ドライバー不足など懸案もある。持続可能な広域展開の可能性を検討する。

問 若桜町のように、民間企業と連携して町外への交通を整備できないか。

町長 日南町では採算性の問題で民間路線が撤退した。まずは伯備線を軸に、町営バスの接続ダイヤを見直す。

問 保護者の負担軽減のためにも、休日の子どもの移動手段の確保が必要では。

町長 実態を踏まえ、総合教育会議などで議論する。

若者定住と地域活性化

問 日野町では新規の町営住宅に募集戸数を超える応募があったと聞いている。町営住宅を新設する計画は。

町長 中心地域整備検討委員会、住まいは一つの焦点である。さまざまな視点で計画を練り上げる。

問 人材育成奨学金の受給者へ公式LINEの登録を呼び掛けては。

町長 その視点も加えて登録者数を増やしていく。

問 町には起業したい方に魅力的な助成制度があるのか、起業を目指す方の集まりなどで紹介しては。

町長 懇談会など、新しく就業した方が孤立しないような取り組みはしている。



糸田川 啓 議員

問 研究中心の大学連携を町課題重視へ

答 大学の知見を活かし町の課題解決を図る

答

問 大学との連携について、大学側の研究が中心となるのではなく、日南町の実情に合った課題解決を軸とした連携へ見直す必要があるのではないか。

町長 鳥取大学など7大学と連携し、専門的な知見を生かして地域課題の解決に取り組んでいる。

また、研究成果を活用し、林業アカデミーへの講師派遣や、日野郡の医療について考える会の開催などを行っており、今後とも町の課題解決を目的とした連携を大切にしていく。

問 大学との連携をさらに深め、学生の町内就職や町職員の採用につなげていく仕組みをつくれな

町長 インターン制度や大学連携事業を通じ、町内就職や職員採用につなげた事例も出てきている。新設した「半学半域型地域おこし協力隊」を活用し、就職や雇用につながる取組を今後さらに充実させていく。



町の課題解決を軸とした大学連携へ

A-I活用促進

問 A-Iを活用して事務処理の効率化を進め、職員が現場に向向く時間を確保するとともに、町民サービスの向上につなげていく考えはあるか。

町長 行政DXの一環としてA-I活用を進め、議事録作成などで業務の効率化を図っている。

今後もA-Iを活用し、現場を大切に行政運営と町民サービスの向上に取り組んでいく。



未来へ

特集

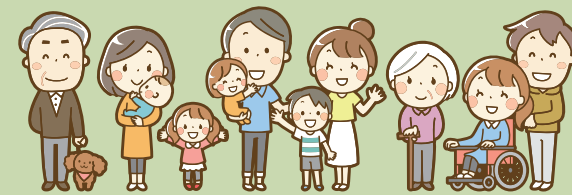
つなぐ議会

U-50議会を開催

※U-50 50歳未満の方

若い世代から政策提言を

5名の町民の方から日南町を未来につなぐための質問、日々の生活体験の中で感じていることなど、持続可能なまちづくりについて政策提言が行われました。



開催までの経緯

- 名称、対象者、開催日決定
- 7月25日 ● 参加者募集の開始
- 8月31日 ● 5名の参加者を決定
- 9月29日 ● 参加者との打ち合わせ※1回目
- 10月14日 ● 参加者との打ち合わせ※2回目
- 11月 5日 ● 質問通告書【執行部へ提出】
- 11月11日 ● 答弁要旨【執行部から提出】
- 11月12日 ● 参加者との打ち合わせ※3回目

11月30日 つなぐ議会開催

質問者	質問内容	ページ
じつぶ みさい 實延 美彩 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●車の運転免許をもたない町民の移動負担軽減について ●若者定住、若者主導の地域活性について 	3
いとたがわ けい 糸田川 啓 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●大学連携について ●日南町内のAI活動促進について ●日南病院建設延期について 	4
いしばし ひろみつ 石橋 弘充 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校のスポーツ支援体制について ●畜産生産者の支援について ●学校での農業体験学習の充実について 	5
いけぶち しゅんいち 池淵 峻一 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●チャレンジ企業支援事業の企業、事業承継支援について ●子育て世代の定住と遠隔教育について 	
まつもと きょうへい 松本 恭平 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●移住定住(U/Iターン)戦略について ●農業分野の就業、起業支援について 	

移住定住は、直接対話が最後のひと押し

問



松本 恭平 議員

答 相談者の視点に立った、リアルな情報を提供



親身になって移住の相談

問 移住定住の取り組み状況は。

町長 「いきいき定住促進条例」に基づき、住まいや仕事の支援、子育てなど暮らしの相談や家族との同居支援などを行っている。

問 移住定住に関する情報発信は、町の魅力と併せて山里ロードが行っている。

町長 実際に検討されている段階の方と直接対話をする中で、最後のひと押しの効果があると思うが。

町長 山里ロードとは情報を共有し、相談者視点で最新情報を発信し、相談者が理解・納得できる体制につなげたい。

農業の就農支援

問 農業研修制度での就農者及び離農者数は。また離農の理由は。

町長 就農者は29名。離農者は4名。そのうち経営不振が2名、健康上の理由が2名。

問 就農者の定着率向上に向けて現行制度改正の考えは。

町長 トマトや水稻に絞った専門的研修を強化したい。

意見 都市部から家族連れで来て、目標基準の所得が300万円は微妙なライン。600万円でスタートラインに立つ方向性を見出してほしい。

スポーツ支援体制の充実を

問



石橋 弘充 議員

答 推進協議会等で課題の整理中

問 学校組織から部活動が離脱すれば運営が不安定になるのでは。

教育長 生活環境の変化、活動場所の調整、備品費、生徒の送迎、指導者への謝金等の課題の整理を進めている。クラブチームを統括する運営主体にコディネーターを配置して中学校との連携や経費管理を担い、令和10年の完全移行を目指している。

問 学校での生活が見えていない状況で、部活動だけの交流では、意思の疎通に時間を要し、難しい部分が想定されるが。

教育長 指導いただいている方とのコミュニケーションの問題も承知している。学校現場と同じで子どもを見るという立場で話し合っしてほしいし、それを行うのがにちなんスポーツクラブのコーディネーターであると考えている。

問 全国的に行き過ぎた指導が問題になっている。抑制防止の監視組織が必要では。



粗飼料確保のためのロール梱包

教育長 誰が行き過ぎの指導に歯止めをかけるか、体制の整備が必要だ。

畜産支援

問 輸入粗飼料が高騰している中で畜産振興の対応策と、水稻収穫時に発生する稲わらを飼料とし、攪拌、ロール出荷、運搬、保管など二連作業の※コントラクターが必要と考えるが。

町長 作業受託の組織化を行い、県内の参考事例も参考に、近隣エリアも含め検討したい。

※コントラクターとは、請け負う業者組織

ほっと
いきいき

参加者の感想



實延 美彩 議員

日南町は魅力があるのに、PR面など不足していると感じ、今回町長に伝えることができました。

現在チャレンジ起業型地域おこし協力隊で活動していますので、将来日南町で起業できたらと考えています。

糸田川 啓 議員

ほかの方の話されていることに共感することが非常に多くて、その中で池淵さんの高校認定の話、すごい感銘を受けました。

今日の発言がほかの人に伝わり、次に繋がればと期待します。

石橋 弘充 議員

貴重な体験として、文句とか思い付きでなく、深く考える機会を与えていただき感謝します。

あがり症で何をしゃべっているのか記憶に残っていませんが、自分の想いや主張を声にできて本当に良かったです。

池淵 峻一 議員

移住して2年目の自分がなぜ引越をしてきて、どこに魅かれているか言葉にできました。

今日の質問を聞いて、私の知らないことが結構あって勉強になり新鮮な驚きでした。

松本 恭平 議員

一次産業の話には共感も多かったです。子育てのことや交通機関、ITの話など、予期していなかった意見を聞いたのは良い体験でした。

次のつなぐ議会でも様々な人を発掘していただければと思います。

山本 芳昭 議長

自らの経験や思いを素直に、そして誠実にお話いただき、大変有意義な議会となりました。心より厚く御礼申し上げます。

提案されたご意見(バトン)は議会がつかないでいきます!

問 チャレンジ企業支援事業は柔軟に対応すべきでは

新しい企業形態に柔軟に対応したい

答



池淵 峻一 議員

問 本事業は、支援上限額が200万円と、町が力を入れている支援策と聞いているが、対象経費が限定されている。

設備投資を必要としない新しい企業形態に対し、どのような支援方針を持っているのか。

町長 チャレンジ企業支援補助金は、設備投資を行わない事業者も念頭に補助対象の経費を柔軟に対応していきたいと考えている。

問 事業が軌道に乗るまでの人件費を含めた支援を検討しては。

町長 人件費は対象外とすることにご理解いただきたい。イターンで来られた場合に地域起こし協力隊の制度を複合的に活用してほしい。



タブレットを活用した課外授業

教育長 現在、一人一台のタブレットを貸与して活用し遠隔教育を含めた教育を実施している。高等学校卒業程度認定制度は、若者にとって、重要な制度だと考える。そのため、県教育委員会と連携し取り組みを行いたいと考えている。

意見 自然、食及び通信環境が整った本町の強みを政策に戦力的に結びつけてほしい。

水道料金 15%値上げを可決

12月定例会

12月9日～12月17日
(9日間)

一般質問では8名の議員が登壇し、町政運営の課題や方向性など活発な議論を展開しました。執行部から提案された、条例の一部改正、条例の廃止、令和7年度一般会計・特別会計・事業会計補正予算など全20議案を原案のとおり可決しました。

ここに注目!!

一般家庭や事業者の水道料金の値上げ

3人世帯で月25m³
使用の場合

現在

3800円/月

今年4月～

4400円/月

15%値上げ

上下水道料金等審議会の答申

- 水道料金を現行の1.15倍の改定
- 消火栓571基の基本料金4000万円を町が負担

問 物価高騰で住民が苦しむ中、値上げを見送るべきでは。

答 物価高騰を理解した上で、最小限の値上げ幅とした。

値上げの主な理由

- 人口減少にともなう事業経営の悪化
- 管路や施設の更新(令和30年前後)
- 中石見地区の水源・配水池の老朽化

問 毎年総額の2%、8200万円を見込んでいる管路更新費をもっと長期間で負担できないか。

答 当面の問題は管路更新でなく、上石見・中石見の簡易水道の統合である。

ここに注目!!

補正予算の主な事業

生山定住促進
団地建築
補助金

150万円

1軒分空いていた団地に新しい入居者があったので、補助金を交付する

問 150万円の内訳は。

答 建築費の助成が50万円
(町外事業者による建築のため)
子ども(0～8歳)加算50万円×2人
合わせて150万円である。

居宅介護事業

253万円

あかねの郷電気設備
などの落雷被害による修繕(建物共済保険
により2分の1程度の保険金がある見込み)

問 どこに落雷したのか。

答 浄化槽の制御盤の被害が大きい。
修理するまでは手動で対応する。

問 酸素吸入などあるが、非常時への備えは。

答 自家発電等を備えている。

つなぐ議会U-50を傍聴して

— お寄せいただいた感想の一部を紹介します —

未来に向けた内容で、子どもや教育に関することが多く嬉しく思いました。若い方が議員になることを望みます。

もうひとり女性がいればバランスがとれて良かったと思います。



かなもり ゆづか
金森 弓束さん(新屋)

未来を託す若者がどんな問題を感じているのか聞きにきました。若者世代ならではの内容で、貴重な質問だと感じました。

今後も若い人にどんどん問題提起をしていただきたいですね。



しおみ まゆみ
塩見 真由美さん(上石見)

町民の声を聞く良い仕組みだと思います。質問のレベルが高いと思いました。

高校で情報処理を学んでいるので、AIの活用に関する質問に興味をもちました。



きしもと そら
岸本 空来さん(茶屋)

一人ひとりの発表者の方が、しっかり自分の思いを分かりやすく伝えておられる姿に敬意を尽くします。

町民参加の開かれた議会へのひとつの方法で、とても良い取り組みだと思います。



たかはし えみこ
高橋 恵美子さん(奥出雲町)

若い方にぜひ議員に立候補してもらいたい。発想が新しいです。

町民議員の再質問の時間が短く感じた。より回答を簡潔にし、再質問の時間をとるべきだと思います。
議員となった方の質問は、日南町のまちづくりに貢献するものだと感じました。

働く世代が議員になったのつなぐ議会は町政に関心を持たせる点で大変貢献している。

今後も継続することで新たな議員の誕生、町議会の活性化につながると思います。

各議員がしっかりと練った質問をあげてこれ、しっかりと時間を考えて発言され、綿密に準備してこれたことを感じました。
町長の答弁が少し的外れなもの、回りくどかったことが少し残念でした。

発言時間が短くもったいないと感じた。初めて聞いたこともあり、こういった取り組みを続けて、いろんなパターンの議会を見たいです。
とても良い議会なのに、傍聴が少なく残念でした。

議員の皆さんは、とても分かり易く的確な質問をされており、住民の立場から直接意見を述べることは重要だと感じました。
限られた時間での質問です。質問に充分答弁できたか、もっと納得いくやり取りをしたかったのではと感じました。

たくさんの感想をお寄せいただきありがとうございました。